

科目名	周産期医学 (Perinatal Medicine)			科目コード	S103
単位数	2 単位	選択区分	必修	時間数	30時間
区分	助産学基礎領域	学期	前期	関連DP	
担当教員	草薙 康城				
授業概要	周産期医療に必要な基礎的な知識・技術として、生殖器系、関連ある内分泌・神経系の形態構造と生理、胎児の特徴と生理、そこに発生する病態とその管理、および医療情報の査定について教授する。				
授業目標	助産師として基盤となる周産期医学についての知識・考え方を修得する。				

授業計画

回	項目	内容
1	生殖器の発生と解剖 月経の起こる仕組み	女性内外性器の発生と解剖、内外性器に発生する奇型 月経周期における卵巣、子宮内膜の変化とその調整
2	妊娠成立の機序 妊娠診断	妊娠成立のメカニズム、妊娠とhCG(ヒト絨毛性ゴナドトロピン) 尿中hCG定性試験の原理と実際
3	超音波断層法	妊娠初期の超音波断層法、妊娠中期から後期の超音波断層法
4	妊娠の維持 胎児付属物	妊娠中の母体の変化 胎児付属物の構造と機能(胎盤、臍帯、卵膜、羊水)
5	妊娠初期に みられる異常	妊娠初期に見られる疾患の病態、診断、治療、流産、子宮外妊娠、胎状 奇胎
6	胎児胎盤系機能検査 胎児心拍陣痛図総論	妊娠高血圧症候群の歴史的変遷、病態、診断、治療 胎児胎盤系機能検査(尿中エストリオール、HPL) 胎児心拍陣痛図(CTG)、NST、分娩監視
7	胎児心拍陣痛図の判読	胎児心拍陣痛図判読演習、基線細変動、一過性徐脈など
8	異常妊娠(1)	妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、切迫早産、PROM(前期破水)
9	異常妊娠(2)	前置胎盤、常位胎盤早期剥離等
10	合併症妊娠 出生前診断	母子感染防止対策(B型肝炎、風疹、ヘルペス、GBSなど) 血液型不適合妊娠 羊水検査、絨毛採取、超音波断層法、母体血清マーカー
11	分娩総論、CPD 胎位・胎勢・回旋異常	分娩総論、CPD 胎位・胎勢・回旋異常
12	胎児機能不全とその対策	子宮内胎児発育不全、分娩時心拍異常とその対策 吸引分娩、鉗子分娩、腹式帝王切開術
13	正常産褥と産褥の異常	分娩時異常出血総論、産科ショック
14~15	総合演習	実際の症例提示のもとに、または過去の国家試験(臨床実地問題形式を 主体で)をもとに、これまでに学習したことを生かして、チュートリアル 形式で学習を深める
成績評価方法	授業に対する取り組みの積極性(20%) 筆記試験(80%)	
教科書	医療情報科学研究所「病気がみえる(vol.10)産科」(メディックメディア)	
参考図書等	必要に応じて紹介する	
授業時間外の 学習について	必要に応じて指示する	
関連科目		
備考		